

介護老人保健施設オアシス21

近藤 純子 (正看護師 / オアシス21 療養棟)

功 績 介護補修改定に伴う科学的介護情報システム (LIFE) のデータ収集内容一部変更に対し、マニュアルを再整備し、一部の職員のみが担っていた役割を平準化し業務過多を解消したこと。

推 薦 者 オアシス21 看護師長 三木 真理子

推 薦 理 由 多職種と話し合い、「どの職種」が「LIFEのどの項目」について「いつ」「何を」「どうやって」作成するのかを明確にした点と業務の平準化が実行出来たことが施設の質と運用の両面で貢献していると判断し、理事長賞へ推薦致します。

内 容

令和3年度より開始となった科学的介護情報システム (LIFE) ですが、令和6年度介護報酬改定に伴い、書式の一部やデータ提出のタイミングの変更があり、多職種で連携して入力している業務に変更が必要となりました。そのなかで近藤は職種を跨ぐ入力データと業務を確認し、データ入力のタイミングに漏れが無いよう担当部署との調整を行うことで加算算定を継続出来ております。

ワイズマンに入力した事柄を効率よくLIFEの各書式へ反映させる手順については、多職種と話し合い、「どの職種」が「LIFEのどの項目」について「いつ」「何を」「どうやって」作成するのかを明確にし、マニュアル化することで全職員が対応となり、一部の職員に偏っていた業務の再編が出来たこと、また、調査のなかで不要となった書式や記録が数箇所あり、ワイズマンにも確認しながら業務整理に繋がりました。

(2024年度に見直された項目)

- アウトカム評価 : 褥瘡マネジメント、褥瘡対策、ADL維持等、排泄支援
- データ提出タイミング : 少なくとも3か月に1度で統一